

日頃から備えよう！！

# ペットの災害対策

災害は突然起こります。いざというとき、あなたの家族とペットがともに安全に避難できるように、日ごろからの心構えと備えが大切です。

避難所への同行避難はできますが、居住スペースで**ペットと同居はできません**。ペットは屋外の決められた飼育場所で他の動物達と一緒にの飼育となります。

自宅に被害がなければ、自宅にとどまることや車内避難も考えられます。ペットにとってのストレスができる限り減るように考えましょう。

## 日頃の災害への備え

### 災害時に備えたしつけ

- (1)「待て」、「おいで」、「お座り」、「伏せ」などの基本的なしつけを行う。
- (2)ケージなどの中に入ることを嫌がらないように、日頃から訓練をする。
- (3)不必要に吠えないようにしつける。
- (4)決められた場所で排泄できるようにする。
- (5)狂犬病予防接種、各種ワクチン接種を必ず行う。
- (6)寄生虫の予防、駆除を行う。
- (7)シャンプーやトリミングにより身体を清潔に保つ。
- (8)不妊去勢手術を行う。



### ペットの所有者明示

災害発生時には、ペットが離れ離れになってしまう場合もあります。ペットが保護された際に飼い主の元に戻れるように、所有者明示をしておく必要があります。

例

#### 犬の場合



- ・首輪と迷子札
- ・鑑札、狂犬病注射済票(狂犬病予防法により鑑札および注射済票の装着が義務づけられています。)
- ・マイクロチップ(環境大臣指定登録機関に飼い主情報および動物情報の登録を行うこと。)

#### 猫の場合

- ・首輪と迷子札
- ・マイクロチップ(同上)



### ペットと避難のための備蓄品



ペットに必要な物資の備蓄をしましょう。**ペットに対する備蓄は飼い主の責任です。**

**備蓄例** ・ケージ、キャリーバッグ ・首輪、リード ・エサと水(最低5日分) ・トイレ用具(ペットシーツ、処理用具、ビニール袋、トイレ砂など) ・ブラシ・タオル

・ペットの写真(迷子になったときのため) ・飼い主の連絡先と、ペットに関する飼い主以外の緊急連絡先、預け先などの情報 ・ワクチン接種状況やかかりつけの動物病院の情報等が書かれたペット登録票

## 災害が発生した時の対応

### まずは人の安全

- まずは自らの安全確保をしましょう。飼い主が無事でないとペットを守ることはできません。

### 動物の安全



- 突然の災害では、動物もパニックになりいつもと違う行動をとることがあります。興奮している動物に不用意に手を出し咬まれるなど思わぬけがをしないように気を付けましょう。
- 飼い主が動転していると動物にも伝わります。飼い主が落ち着いて、普段どおりの言葉をかけるなど、動物を落ち着かせるように努めましょう。
- 犬はすぐにリードをつけましょう。猫は慣れたゲージなどに入れましょう。

### 落ち着いて避難の用意

- 室内のガラスの飛散や倒壊家具などに注意して、非常持ち出し袋を用意し、電気のブレーカー、ガスの元栓を切ります。避難をするときは、飼っている犬や猫などは一緒に避難する同行避難が原則となります。

### 指定避難所へ



- 避難の指示があった時には、ペットを連れて避難しましょう。災害時は人も動物も興奮していますから、普段と違った行動をとることも考えられます。リードは離さないようにしっかり持ち、キャリーバッグやケージはしっかり抱えペットの安全に気を配りましょう。

## 避難所でのペットの対応

### 指定避難所の居住スペースでは、ペットとの同居はできません。

指定避難所では、動物が苦手な人やアレルギーのある人など、様々な人との共同生活となります。そのため、ペットは屋外の決まった場所でケージに入れるなどして飼育することとなります。

### 避難所でのペットの世話について

ペットの排泄物の始末や飼育環境を清潔に保つことなどペットの世話は、飼い主が責任を持って行いましょう。

### 各指定避難所でのペットの飼育場所について

ペットの飼育場所について市のHPにまとめてあります。  
各指定避難所の飼育場所についてHPから確認しておきましょう。



印西市ペット防災HP

